

NATIONAL SYMPOSIUM IN SAPPORO

～臨床でのARNIの使い方を考える～

# 薬理学の 観点から見た ARNIの特徴

2023年4月23日、札幌にて開催

香川大学  
医学部薬理学講座 教授

西山成 先生



エンレスト(アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬:ARNI)が高血圧症に使用できるようになって1年半以上が経過し、臨床での処方経験が積み重なるとともに、本剤の作用機序に改めて関心が寄せられています。

4月23日に開催された「NATIONAL SYMPOSIUM IN SAPPORO ～臨床でのARNIの使い方を考える～」では、香川大学医学部薬理学講座教授の西山成先生にARNIの作用機序や降圧効果の特徴について、塩分や血圧調節の進化の話を変えながら解説していただきました。



0.9<sup>1, 3</sup>

### 0.9<sup>1, 3</sup>

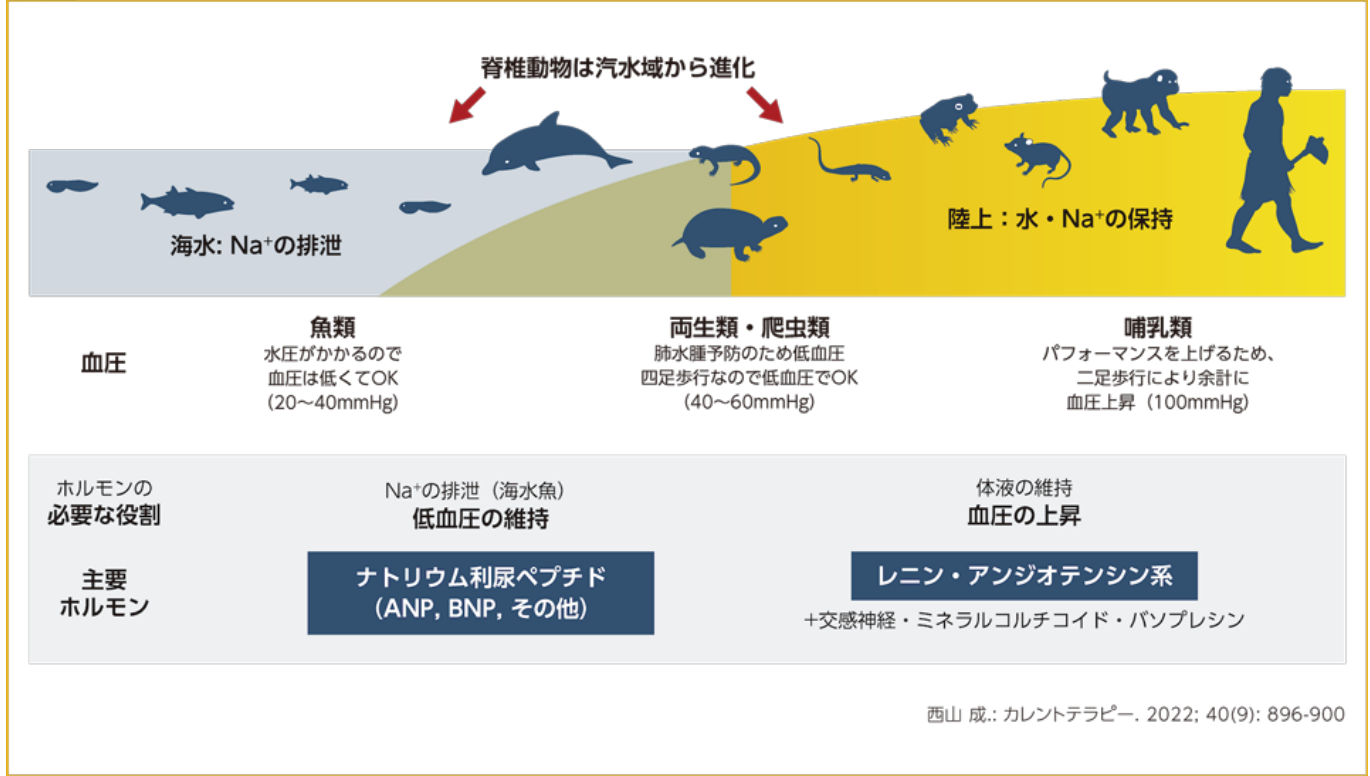
0.9<sup>4, 5</sup> ANP BNP<sup>6</sup> 5<sup>7</sup>

### 20 40mmHg<sup>1, 3</sup> 1<sup>3</sup>

RA<sup>8</sup> 1<sup>3</sup>

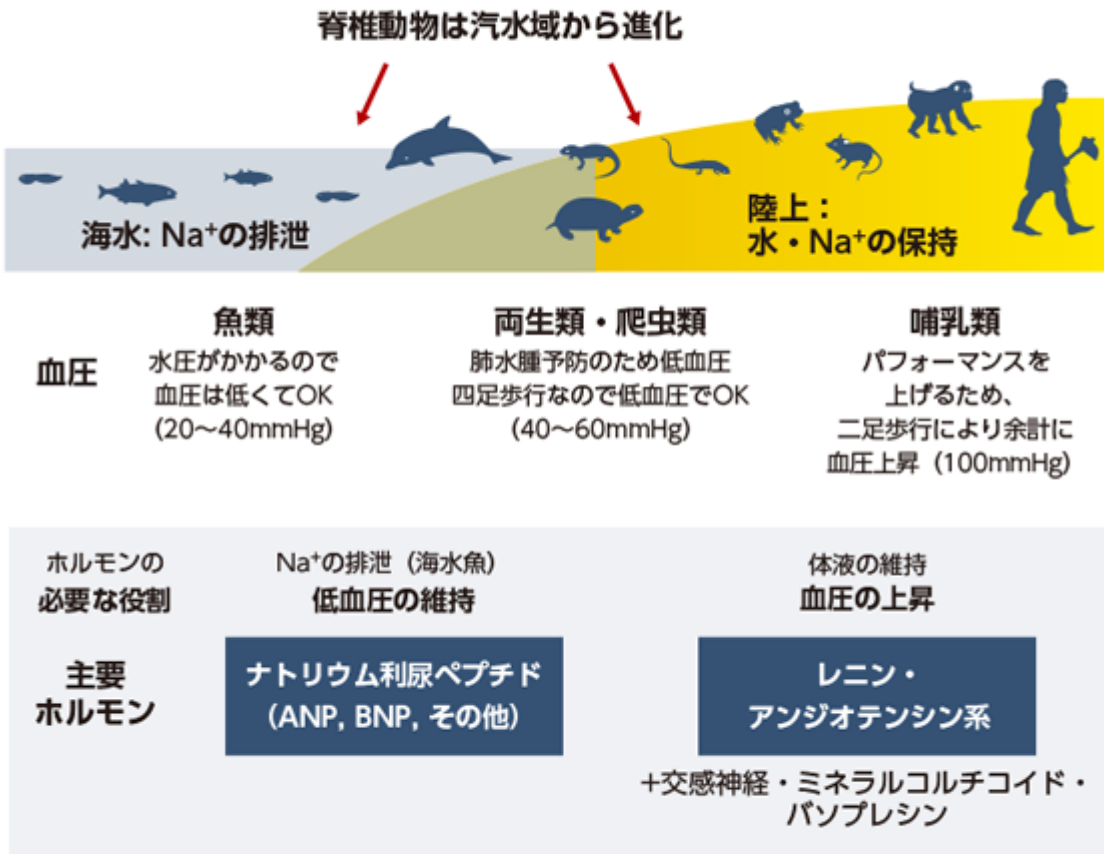
## Image

図1 脊椎動物の血圧と主要ホルモン



## Image

# 図1 脊椎動物の血圧と主要ホルモン



西山 成.: カレントセラピー. 2022; 40(9): 896-900

## ARNIとARB

ARNIは、ACE阻害薬とARBの複合体であり、ACE阻害作用とARB作用を同時に発揮する。ARNIは、ACE阻害作用により、ANPとBNPの産生を促進し、血圧を低下させる。また、ARB作用により、RAAS系を抑制し、血圧を低下させる。ARNIは、ACE阻害薬とARBの複合体であり、ACE阻害作用とARB作用を同時に発揮する。ARNIは、ACE阻害作用により、ANPとBNPの産生を促進し、血圧を低下させる。また、ARB作用により、RAAS系を抑制し、血圧を低下させる。ARNIは、ACE阻害薬とARBの複合体であり、ACE阻害作用とARB作用を同時に発揮する。ARNIは、ACE阻害作用により、ANPとBNPの産生を促進し、血圧を低下させる。また、ARB作用により、RAAS系を抑制し、血圧を低下させる。

## ARNIとARBの比較

ARNIは、ACE阻害薬とARBの複合体であり、ACE阻害作用とARB作用を同時に発揮する。ARNIは、ACE阻害作用により、ANPとBNPの産生を促進し、血圧を低下させる。また、ARB作用により、RAAS系を抑制し、血圧を低下させる。ARNIは、ACE阻害薬とARBの複合体であり、ACE阻害作用とARB作用を同時に発揮する。ARNIは、ACE阻害作用により、ANPとBNPの産生を促進し、血圧を低下させる。また、ARB作用により、RAAS系を抑制し、血圧を低下させる。ARNIは、ACE阻害薬とARBの複合体であり、ACE阻害作用とARB作用を同時に発揮する。ARNIは、ACE阻害作用により、ANPとBNPの産生を促進し、血圧を低下させる。また、ARB作用により、RAAS系を抑制し、血圧を低下させる。



